

2016年8月号
Vol. 28

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町 11 番 2 号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp

HPからも
アクセス
できます!!
facebook
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
http://www.cbs.or.jp/

～東総アニバーサリーイヤー いよいよスタート～



開館 25 周年を迎えた千葉県東総文化会館は、さまざまな記念事業で賑やかにお客様をお迎えします。

オーケストラ、和太鼓、プラスバンドなど、県民が主役となる事業に、アートの世界も加え、地域色豊かなカラーでアニバーサリーを飾ります。

地域のホールとして、たくさんの方々に支えられ、県民の皆様と共に歩んできた東総文化会館の 25 周年を、ぜひ一緒に盛り上げてください!!



当館の緞帳原画制作者としてオープン当初から深い関わりがあり、彫刻刀に想いをこめてぬくもりのある版面制作に取り組まれている土屋金司さんと、旭市出身の若手ピアニストで、この会館から大きく世界に羽ばたいた期待の新星、實川風さんから温かいメッセージをいただきました。

Message

【土屋金司さん】

千葉県東総文化会館の 25 周年をお祝い申し上げます。

私は開館数年前から旭市文化振興審議会委員として関わりが始まり、一層の感慨を抱いております。

ちょうど版画家としての活動開始時期に重なり、文化について深く考えるための大きな存在となって、運営スタッフの皆さんから多くのことを学ばせていただきました。

大ホール緞帳原画制作者として、25 年間の歳月を振り返りますと、催物を始め沢山の場面が走馬灯となって蘇り、懐旧の情に包まれてまいります。

ここに感謝申し上げますと共に、未来永劫の地域文化発展を祈念いたします。



【實川風さん】

東総文化会館、開館 25 周年おめでとうございます!

旭市で生まれ育ち、東総文化会館には子供の頃から演奏会を聴きに来ていたので、とても馴染み深い場所です。当時はピアノやホールの響きのことは良く分かりませんでした。今となってはスタインウェイとベーゼンドルファー、ヤマハと、3 台もの貴重なグランドピアノが集まっているということの素晴らしさを強く実感しております。

11 月の演奏会では、東総文化会館の音の響きの良さと、美しいピアノの音色をぜひ味わっていただきたいと思います。

これからも「音楽のパワー」を地域に届け続けて、ますます県民の皆さまに愛されるホールとなっていってください!



土屋金司さんは、開館 25 周年記念「土屋金司～版画の世界～」でご協力をいただきます。

實川風さんは、昨年、ロン＝テイポー国際コンクールで第 3 位に輝きました。また 11 月の「医科学生コンチェルトオーケストラ特別演奏会」に出演し、作曲家平井京子氏が書き上げた新作のピアノ協奏曲「星の林」を世界初演することが決まるなど、ピアノ界の貴公子として活躍中です。

活躍する二人の芸術家に負けないよう、これからも千葉県東総文化会館は、県東部の文化発信拠点としてさまざまな事業を展開していきます。

文化会館の魅力や仕事を体験し、若い力を文化芸術へ向けるプログラムとして、当館では中学生の職場体験や大学のインターンシップを受け入れています。

私たちが携わる舞台業務や受付業務、公演事業に関する業務など様々な仕事を体験し、普段とは違う角度から文化芸術に触れていただきます。



この経験を通して、文化芸術に興味を持ち、多くの方に私たちと同じフィールドで活動していただきたいと思います。

この他にも、若者の文化活動を支援する事業や子どもを対象とした参加型事業などにも力を入れています。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックを迎えます。これから様々な場面で若い方の活躍が期待されています。当館としても、文化芸術の面で若い方の活動を応援し盛り上げていきます。

「アキラさんの大発見コンサート 2016」に向けて

千葉県少年少女オーケストラ

宮川彬良先生の編曲は、クラシックからポピュラーまで多岐にわたり、その数は300曲近くになります。今回は、その中から「トーンチャイム」という楽器を使った「エーデルワイス」を演奏します。

トーンチャイムはハンドベルのように数人で音を分担して音楽を演奏する楽器で、アルミ製のパイプを共鳴させて音を出します。軽量で簡単に音が出ますが、1人でも欠けては音楽になりません。また、音の粒を揃えて初めて旋律として聴こえるので、チームワークがとても大切です。

今回演奏するのは、各パートの小学4年生～6年生の8名です。タイミングや音の粒を揃えるのは、難しいですが、旋律としてつながるように練習に励んでいます。8人全員の心がひとつになった時の美しさは、聴く人の心を優しく包みこむことでしょう。管弦楽とトーンチャイムの初のコラボレーション、普段とは違う雰囲気味わえることと思います。



大学との連携

文化振興グループ

当財団は、学生が文化振興に関わることができる取り組みを積極的に行い、若い感性を取り入れた事業を展開できるよう、千葉大学や千葉商科大学、千葉明德短期大学などの地元の大学と連携を図っています。今回はその中から、千葉明德短期大学とどのような取り組みを行っているのか、ご紹介いたします。



上の写真にあるように、インターンシップとして学生を受け入れて、演奏会を鮮やかに彩るお花の飾りつけや、文化事業を広報するためのDM発送作業、または舞台のスタッフとして、多くの経験を積んでいただいています。

また、今年の12月には、千葉明德短期大学と協働で開催する、朗読・音楽・ダンスによるコラボレーション創作作品『いのはなカルチャーコレクション Collab Act Project 「天仰ぐ花～天女つれづれ語り」』があります。

千葉に語り継がれる「羽衣伝説」をテーマに、どんな表現ができるのか、どんなステージを創り上げるのか。学生の皆さんもはりきっています。

編集後記

今年度は、旭市にある千葉県東総文化会館が開館25周年を迎えます。さらに来年度は、千葉市にある千葉県文化会館が、開館50周年を迎えようとしています。

今後もアニバーサリーを彩るイベント・コンサートがたくさんありますので、ホームページやfacebookもお見逃しなく！